

片麻痺の運動機能改善のために適切な運動課題の 選択と適切な課題難易度の設定

臨床で、基本動作や歩行は「意識せずにスムーズにやっているものです」と説明する一方、その練習場面では言語指示の多さと患者の努力的要素に頼っている場合も少なくありません。本研修会では、言語指示を極力減らし、体が反応しやすい運動課題を選択し、効果的な難易度を設定した運動療法を研修していただくと考えています。実施している時間内に即時的効果を起こし、翌日にも変化が継続しやすい運動療法を実施できる理論と実技を研修します。

「今やっていることで変化を実感できない」とか、「昨日できたのに、、、なぜ今日はできないの?」と感じている方々が、具体策を考えていただける知識と技術を提供するよう構成しました。

1. 運動課題選択のために

- ① 運動学習理論
- ② アフォーダンス
- ③ 一般化運動プログラム
- ④ 半球間抑制

2. 適切な難易度設定のために

- ① Fusimotor set
- ② 痛み、注意、ストレスの影響
- ③ 難易度調整できる要素



日時	2018年7月8日(日) 受付 9:30 研修 10:00~16:00
会場	東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館) 602 中会議室 仙台市青葉区国分町 3-3-7
受講費	¥10,800 (資料代を含みます)
講師	スターティングアゲイン 山本泰三 (基礎系・運動器系・神経系 専門理学療法士)
申し込み方法	スターティングアゲインのホームページから申し込みください スマートフォンのメールを登録アドレスに使用しないでください
注意事項	実技がありますので、運動のできる服装を準備ください
問い合わせ先	スターティングアゲイン starting.again.615@gmail.com